

取り扱い説明書 石膏ボードへの取付

シェルベース 大

石膏ボード対応

※木壁へ取付ける場合は市販の3.5皿ビスを使用して下さい。

詳しい取付動画は
このQRコードを
読み取り再生して下さい。



要保管

施行方法【柱の固定に使う場合】

<p>Step1 柱に金具を取り付ける</p> <p>下穴を空け取付金具をネジで固定します。 ※微調整する場合はフリー穴にビスを打ち金具の位置を決めて下さい。</p> <p>※フリー穴 (縦長穴)</p>	<p>Step2 ベースプレートを取付金具にセット</p> <p>①下から差し込み ②側面のロックをかけます。</p>	<p>Step3 柱を仮固定</p> <p>柱を床にしっかりと押さえつけ垂直を出す。</p> <p>90°</p> <p>壁に押し当て下さい</p> <p>壁</p> <p>※壁離れキリたてでロッキングが出来ません</p> <p>荷重がかかる場合は床にきちんと柱が離れていることを確認してください。仮固定後、ロックを解除し柱を壁から外します。 △隅に取り付ける場合、片側のロックは締めないでください。片側ロックだけでも柱は抜けません。</p>
<p>Step4 ベースプレートを壁に固定</p> <p>付属のピン押し工具を使うと便利です。まず深い穴で少しだけピンを押し込み、浅い穴で最後まで押し込みます。</p> <p>ベースプレートを手で抑えながら、付属のピン押し工具を用い計24本のピンを挿入します。</p> <p>深い穴 浅い穴</p>	<p>ピンの挿入が固い場合はハンマーなどを使い押し込んで下さい。</p> <p>強度に不安のある方は下地のある所でビス打ちにて金具を固定して下さい。</p>	<p>Step5 柱を固定</p> <p>①柱を上から ②柱が抜けないようにスライドさせ 側面のロックを戻します。</p> <p>ロックはロックレバー片側操作だけでも動作します。必要に応じてロックをして下さい。手で強く壁側に押し込んだ状態でロック操作を行って下さい。</p>
<p>Step6 取付確認</p> <p>設置後、強度に問題がないか重々、確認して下さい。</p>		

施行方法【木材を横で使う場合】

<p>Step1 柱に金具を取り付ける</p> <p>下穴を空け取付金具をネジで固定します。</p> <p>※微調整する場合はフリー穴にビスを打ち金具の位置を決めて下さい。</p> <p>※フリー穴 (縦長穴)</p>	<p>Step2 ベースプレートを取付金具にセット</p> <p>①下から差し込み ②側面のロックをかけます。</p>	<p>Step3 金具の位置決め</p> <p>板の上に水平器を置き、床と板を平行にする</p> <p>壁に押し当て下さい</p> <p>壁</p> <p>※壁離れキリたてでロッキングが出来ません</p> <p>金具の位置決め後ロックを解除し板を壁から外しベースプレートを壁に残します。 金具位置決めの際、板から手を離さないでください。 ※落下の原因となります。</p>
<p>Step4 ベースプレートを壁に固定</p> <p>付属のピン押し工具を使うと便利です。まず深い穴で少しだけピンを押し込み、浅い穴で最後まで押し込みます。</p> <p>ベースプレートを手で抑えながら、付属のピン押し工具を用い計24本のピンを挿入します。</p> <p>深い穴 浅い穴</p>	<p>ピンの挿入が固い場合はハンマーなどを使い押し込んで下さい。</p> <p>強度に不安のある方は下地のある所でビス打ちにて金具を固定して下さい。</p>	<p>Step5 ベースプレートに取付</p> <p>①板を上から ②板が抜けないようにスライドさせ 側面のロックを戻します。</p> <p>ロックはロックレバー片側操作だけでも動作します。必要に応じてロックをして下さい。手で強く壁側に押し込んだ状態でロック操作を行って下さい。</p>
<p>Step6 取付確認</p> <p>設置後、強度に問題がないか重々、確認して下さい。</p>		

△ 注意 この説明書を正しく読みご使用下さい。

- ピン及び仮止めピンの先端は尖っており取り扱いには十分、警戒して下さい。
- ピンを使用する為、挿入跡が残ると困る場所には使用しないで下さい。
- 反りやねじれの少ない木材を使用して下さい。
- 柱を壁に取り付ける際、ベースプレートと取付金具がしっかりとはまった状態で仮固定して下さい。
※この時、柱が垂直になっている事も確認して下さい。柱が床に付いている事を重々確認して下さい。
(柱が床に付いていない場合、壁に負担がかかり破損の原因になります。)
- ※金具の取付位置、棚の出幅により荷重のかかり方が異なります。
- 壁への取り付けはピンもしくはビスにて固定します。
- 壁の強度に不安がある方は下地を設けビスにて固定して下さい。
- 室内環境により石膏ボードが湿気を吸収し脆くなっている場合は金具の使用を控えて下さい。
- 金具取付の際、すんなりとピンが挿入された場合、石膏ボードが脆くなっている可能性があります。
この場合、ピンでの取付は避け下地がしっかりとした箇所までビスにて金具を固定して下さい。
- 取付後は定期的に強度の確認をお願いします。(金具の浮き等)
- 壁以外の場所では使わないで下さい。
- 水気が多い場所や直射日光が長時間当たる場所等、木材の劣化を促進させる場所には使用しないで下さい。
- 天災地変などその他不可抗力経年劣化、分解、改造、誤った使用方法による故障、破損、事故などに対する補償等はいたしかねます。
- 誤ってぶつかる等、過度なショックが伝わった場合、破損の原因となります。
- 小さなお子様やペット等が触れる事のできる場所には取付しないで下さい。
- 壊れやすい物、骨董品、貴重品、目安荷重を超える重量物の使用は避けて下さい。
- 本製品のパッケージに書かれている目安荷重は最終製品の機能、性能、安全を保障するものではありません。
- 安全荷重はあくまで目安です。ご使用の際は必ず強度に問題がないかご確認をお願いします。
- ハンマーなどを使う場合は重々、壁の破損及び周囲に人が居ないか確認して下さい。

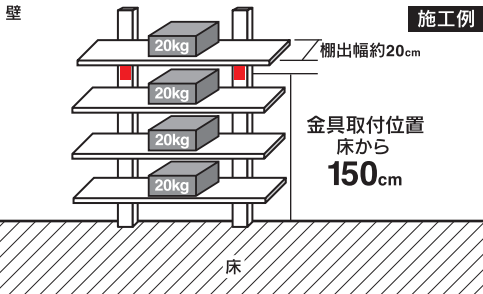
金具使用時の目安安全荷重(付属のピンで固定した場合)

柱として使う場合

大の金具を左右各1個使った場合

1段 **20kg**
最大4段合計 **80kg**

△ **重々、柱が床に着いている事を確認して下さい。床に柱が着いていない場合は転倒の恐れに繋がります。**



棚に使う場合

大の金具を2個使った場合

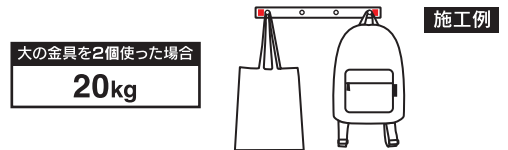
20kg



なげしに使う場合

大の金具を2個使った場合

20kg



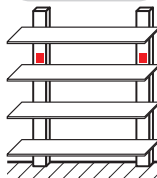
※金具の取付位置、棚の出幅により荷重のかかり方が異なります。

大 セット内容

- ベースプレート 1個 POM(ロックレバー2個 PP装着済)
- 取付金具 1個 スチール
- ピン押し工具 1個 POM
- ピン 30本 ステンレス * 6本予備含む
- 木ネジ 4本 30×90mm
- 床保護テープ 1枚
- 取扱説明書 1枚



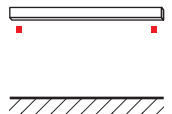
柱2本で棚を作る場合、金具は二つ要します。



柱1本のみで使う場合、上下2箇所金具を使うことお薦めします。



木材を横で使う場合 ※左右2箇所に金具を使います。



中澤鑄造販売株式会社

〒537-0024 大阪市東成区東小橋 1-16-25
TEL(06)6981-5905 FAX(06)6981-5912
営業時間：9時～17時【土日祝休み】